

事業所名 グループホーム悠遊荘

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和4年12月22日(木) 14:00 ~ 15:00

参加者	議題
訪問看護 1名	・活動報告
民生委員 2名	・事故報告
地域住民の代表者 3名	・内部研修
利用者家族 2名	・身体拘束適正化検討委員会
地域包括支援センター職員 1名	・質疑応答
市職員 1名	コロナ感染拡大のため運営推進会議を
事業所 4名	書面開催とさせていただきました。

会議録

1. 11月、12月の活動報告

11月

1日(火) 看護学生 3名

4日(金) K様 眼科受診 N様 皮膚科受診(ご家族様と一緒に)

6日(日) 外出 紅葉狩り ランチバーデンパーク 利用者様全員

7日(月) 往診

12日(土) N様 歯科受診(ご家族と一緒に)

20日(日) N様 外出(自宅)

24日(木) M様 あさいクリニック

12月

2日(金) N様 皮膚科受診

3日(土) K様 松コーヒー(ご家族様と一緒に)

5日(月) 往診

8日(木) H様 あさいクリニック受診(ご家族様と一緒に)

9日(金) たんぽぽの会 カラオケボランティア 6名来荘

10日(土) 理美容

11日(日) N様 外出(自宅)

17日(土) M様(男性) M様(女性) 耳鼻科受診(耳掃除) 2名

21日(水) N様 皮膚科受診

24日(土) クリスマス会 二胡の演奏 来荘予定

2. 事故報告

12月11日(日) S様 食堂 17時30分ごろ

夕食時もう食べられないと話しながら同じテーブルの他入居者におかずを渡した。いただいた入居者は魚を一切れ食べてしまう。

3. 内部研修

12月15日(木) 職員会議で実施

『感音性難聴』について M様の場合

音を判別する器官の障害により起こる難聴。原因は内耳の有毛細胞の老化と思われる。音が鳴っているのはわかるが、話し声なのか雑音なのか区別できない。

両方の耳に補聴器をつけるのが理想だが、抵抗があり良い方の左耳につけ耳元で話す。残念ながら有効な治療法がまだ確立されていない。

4. 身体拘束適正化検討委員会

テーマ〈車椅子の拘束をなくすために〉

12月15日(木) 職員会議で実施

車椅子を利用する入居者がいることから、車椅子の拘束について話し合いました。

：テーブルに車いすをつける。

：車いすに体幹や四肢を紐等で縛る。

：立ち上がりを防げるような椅子を使用。

：車いすからずり落ちないためにY字型抑制帯やベルトを着ける。

「身体拘束ゼロへの手引き」にて、「徘徊・転落・ずり落ち・立ち上がり」の防止として、ベルトやカットアウトテーブルを使用することが禁じられていることを改めて確認しました。

5. 意見照会について

Q 活動報告について

11月6日(日)利用者全員で外出した時の感染対策等での工夫と利用者様の反応についていかがだったでしょうか？

A 回答

感染対策として、マスク着用と人混みを避けるため事前に下見に出かけ11時から席と食事を予約しました。当日は食事の席が混む前に食べ終わり、外に出て紅葉の公園を散策。普段あまり食べられない利用者様も全員完食で美味しいと笑顔で話してくれました。天気も良く真っ赤なもみじの下で記念撮影がとれました。

*研修について

個々の利用者様の病気や障がいについて職員間で共有することは良い取り組みだとのこと意見もいただきました。

*身体拘束のについて学ぶ事の大切さ及び、今後外出とかレクなども期待していますとのご意見をいただき、感染対策をしながらボランティアの方に来て頂けるようお願いいたします。

次回開催予定 2月22日(水)